

未来を築くコース会議2017～“対立”と向き合う～

第3回 応用編II 世界の対立から学び 対立を越える

- 日時：2017年10月21日（土） 10時33分～16時10分
- 場所：あいち国際プラザ団体交流室
- 参加者：6人
- ファシリテーター：伊沢令子（NIED・国際理解教育センター）、記録：川合眞二（同左）
- 全体（全4回）のねらい
 - 対立とは何か、対立の定義や特徴などについて学び、対立という視点から世界と日本をふりかえる。
 - 社会で起きている様々な対立の原因を探り、対立解決のために必要なものや役立つことを考える。
 - 非暴力で建設的に対立を解決するスキルについて学び、より大きな対立解決に活かせるようになる。
 - 自分たちの未来を自分たちの手で仲間と共に実現していくコース・モデルとなる。

● 第3回のねらい

- ① 戦争・紛争と、その対立解決に向けて取り組まれてきたことや取り組まれていることから学ぶ。
- ② 暴力に訴えず建設的に対立を越える方法について知り、身近な事例を用いて解決法を練習する。
- ③ 積極的平和という概念を理解し、積極的平和を構築するために必要なもの役立つことを考える。

● プログラム

1. 第3回のねらいなどの確認
2. アイスブレイキング
3. 第2回のふりかえり
4. 世界で起きている戦争・紛争
5. 戦争・紛争の原因には何があるのだろうか？
6. 午前中のふりかえり
7. アイスブレイキング2
8. これって平和か対立か！？
9. 自己紹介とここまで行ったことの共有
10. 積極的平和にあるとよい要素
11. クロアチア紛争の概要の確認
12. クロアチア紛争ロールプレイ
13. トランセンド法（超越法）
14. その他関連する事項の共有
15. グループ替えと一言自己紹介
16. 世界の取り組みから学ぼう
17. 対立を越え多様な人々と共に生きるために役立つこと・必要なこと
18. 全体ふりかえり

● 記 録

[] : 所要時間

1. 第3回のねらいなどの確認 10:33 - [5]

- 会議のねらいの説明…本年度のユース会議のテーマである「対立」の趣旨と全4回のねらい、第3回のねらい、参加型による進め方について、ファシリテーターが説明した。

2. アイスブレイキング 10:38 - [23]

- 知りたいこと出し…初めて出会った人と「どんなことを知りたいか?」を出し合った。

好きな教科や専門、趣味、住んでいる場所、
人生で大事にしていること・モットー、
好きな本、好きな映画、今まで一番感動したこと

- 自己紹介シートづくり…各自 A4 用紙に、次のことを書いた。

- ・中央…自分を表すシンボルマーク
- ・3つの枠…8つの知りたいことから3つ選んで、その答えを書く。
- ・1つの枠…8つの中にない自分が伝えたい自分のことを書く。



- シートを使った自己紹介…見本としてファシリテーターが A4 用紙に書いたことを基に自己紹介を行った。その後、グループ内で、1人1分30秒で自己紹介しあった。

3. 第2回のふりかえり 11:01 - [16]

- 第2回記録の確認…各自、第2回の記録を読み、印象に残ったところに3カ所下線を引いた。
- 印象に残った箇所の共有…グループ内で、印象に残ったところとその理由を伝え合った。

4. 世界で起きている戦争・紛争 11:17 - [23]

- 世界の戦争紛争の確認…資料「戦争の定義（戦争、内戦、紛争の違い）と世界紛争マップ（2017年のトップ20）」を各自読んで確認した。

- 詳細資料の分担読解…トップ20の紛争のうち2~3の紛争がまとめられた資料を1人1種類ずつ取り、内容を読み把握した。

- 各資料の共有…グループ内で、自分が読んだ資料の内容（概要、原因など）を紹介しあった。



5. 戦争・紛争の原因には何があるのだろうか? 11:40 - [7]

- 質問…「第二次世界大戦終了後70年間、一度も紛争をしたことがない国はいくつあると思うか?」というファシリテーターの質問に答えた。→40カ国、50カ国、5カ国、→答え10カ国（アイスランド、フィンランド、スウェーデン、ノルウェー、デンマーク、スイス、オーストリア、ジャマイカ、ブータン、日本）

- **戦争・紛争の原因**…各自、戦争・紛争の原因について書かれた資料を読んだ。→宗教、貧困、政治体制の不安定などが主な原因として書かれている。
- **ファシリテーターのコメント**…日本は直接戦争をしていないが、間接的に関与している。例えば、日本のメガバンクは、100億円単位でクラスター爆弾を製造している企業に融資をしている。

6. 午前中のふりかえり 11:47- [3]

- **感想の共有**…午前中の感想を伝え合った。

- ・ 紛争はあまりにも多い。トップ20の紛争だけでも様々な原因があり、どこから手を付けたらよいかわからなくなる。
- ・ 紛争が多いことにショックがあった。政治が原因で紛争が起きているが、日本の若者の政治への無関心があり、若者ががんばらなくてはいけないと思った。
- ・ 紛争の中身を理解するのに時間がかかった。今の自分に遠い現実であるが、知って、考えることが必要だと思った。
- ・ 戦争・紛争の名前を試験で覚えたが、その実情や原因を学んだことはなかった。些細なことで紛争になるのだと思った。

★ お昼休み 11:50-[70]

7. アイスブレイキング2 13:00- [6]

- **丸いもの探し**…チーム対抗で、「丸いもの」をできるだけ多く考えA4用紙に書き出した。
- **発表**…40個書き出したチームが先にすべてを発表し、出ていないものを36個のチームが発表した

8. これって平和か対立か！？ 13:06- [24]

- **イラストカードの分類**…グループに配られた20枚のイラストカードを見て、描かれたイラストが「平和」を表しているものか、「対立」を表しているものか、「グレーゾーン」かに仕分けをした。
- **共通する要素出し**…分類したカードを見て、「平和」と「対立」それぞれ共通する要素を考え、全体で発表した。また、その後、グレーゾーンとした理由も発表した。



<平和の要素>…親子、教育、自然、医療、助け合い、援助・支援、娯楽・遊び、仲良し、家族

<対立の要素>…武器、けんか、人種差別、無関心、環境汚染、犯罪、非行、貧困、安全が保障されていない、空腹、反対運動、紛争、分断

- **ファシリテーターのコメント**…平和には消極的平和と積極的平和がある。消極的平和とは戦争がない状態のことを指す。積極的平和は戦争がないだけでなく、戦争の原因になるような上記に挙げた「対立」の要素がない状態のことを指す。平和学者のヨハン・ガルトゥング氏が提唱した概念である。

9. 自己紹介とここまで行ったことの共有 13:30- [10]

- 改めて自己紹介…メンバーが増えたため、グループ内で自分のことを表す3つのことで自己紹介を行った。
- ここまでの共有…今日ここまで行ったことを、グループ内で新たなメンバーに伝え、共有した。

10. 積極的平和にあるとよい要素 13:40- [10]

- 積極的平和の要素出し…先に挙げた平和の要素以外に、積極的平和にあるとよい要素をグループ内で考え、全体で発表した。

<積極的平和の要素>…十分な食糧、環境保全、仕事がある、生きがいを感じられる、選択の自由、発言の自由、自由、平等、法律、安心、警察

- 関連資料読み…補完的に、積極的平和（3つの暴力がない状態）に関する資料を各自読んだ。

11. クロアチア紛争の概要の確認 13:50- [10]

- 関連資料の音読…クロアチア紛争に関する資料をグループ内で音読した。
- ユーゴスラビアクイズ…クロアチアが属していたユーゴスラビアの7つの数字に関するクイズをグループで相談して回答した。
<答え> 7つの国境、6つの共和国、5つの民族、4つの言語、3つの宗教、2つの文字、1つの国家

12. クロアチア紛争ロールプレイ 14:00- [20]

- ロールプレイ…役割を決めて、それぞれクロアチア人とセルビア人の言い分が書かれたカードを読んで内容を理解し、その人になりきりロールプレイを行った。
- 感想の共有…ロールプレイをしてみた感想を全体で発表した。→「相手の言い分を聞いて、クロアチアもなかなかのことをしていたとわかった。」「相手の言い分とこちらの主張にはずれ違いがあると思った。」
- ファシリテーターのコメント…それぞれの言い分を言い合っているだけでは、平行線で解決できない。



13. トランセンド法(超越法) 14:20- [27]

- 関連資料読み…国際的な紛争解決する際に、仲裁に入る人が考える「超越法」についての資料を各自読んだ。
- クロアチア紛争の解決法の検討…クロアチア、セルビアの両方が満足するような解決方法のアイデアについて、トランセンド法の考え方に習って、グループで話し合った。
- 実際の解決方法の確認…「クロアチア紛争の最終的な解決まで」という資料を各自読んで確認した。

★ 休憩 14:47-[10]

14. その他関連する事項の共有 14:57- [10]

- ホーポノポノ…ハワイの伝統的な和解の儀式「ホーポノポノ」の内容について、「鬼退治したくない桃太郎」の事例などを基に紹介した。ホーポノポノの概要は次のとおり。

ホーポノポノ 対立から対話へ(非暴力コミュニケーション)

□ ホーポノポノは、ハワイ語で直訳すると「曲ったものをまっすぐに直す」という意味。

□ ハワイなどのポリネシアと呼ばれる南太平洋の島々にある伝統的な平和に暮らすための慣習・和解の儀式。

□ 長老が、誰かが罪を犯したとき、それに関わる全ての人を集め車座になり、その人たちとともに事実を見つめ、過去は水に流し、建設的な未来への約束をするもの。最後に長老が事実を書いた紙のみを燃やし終わる。

＜話し合いの基本ステップ＞

- 1. 事実を確認する** 自分に影響を与えている事柄について、善悪や責任などの判断と切り離して説明する（いつ、どこで、だれが、どうして、何が起こったか）。
- 2. 気持ちを伝える** その事柄について、自分はどのように感じているか、どんな気持ちがするか。相手がどうではなく、自分の内側を見つめ言葉で表現する。
- 3. 希望を語る** 相手を非難するのではなく、自分が大切にしたい価値観や満たされたいことを語る。
- 4. 約束する** 自分ができる具体的で実行可能なことを提案し、相手への希望（要求ではなく）を語る。

- 世界終末時計、地球カレンダー…概要をファシリテーターが紹介し、それに関する資料を各自読んだ。「世界終末時計」…地球最後の日までの残り時間を概念的に示す「世界終末時計」を30秒進め、残り2分半とした。核兵器拡散や気候変動への対策の進展が乏しく、こうしたテーマに後ろ向きなトランプ米大統領の発言が出たことが理由という。

15. グループ替えと一言自己紹介 15:07- [7]

- グループ替え…スタッフも含めて4人グループを2つ作った。
- 一言自己紹介…「最近のトピック」で自己紹介を行った。

16. 世界の取り組みから学ぼう 15:14- [18]

- 関連資料の分担読解…紛争解決、和解などに向けた世界の取り組み事例に関する4つの資料を分担して読み、次の点について紹介しあった。
＜4つの事例資料＞ ポスニア、ルワンダ、ニュージーランド、エリトリア
＜読解の視点＞ ① 何についての事例か、② 具体的な取り組み内容、③ 良い思うポイント

17. 対立を越え多様な人々と共に生きるために役立つこと・必要なこと 15:32- [31]

- ブレインストーミング…これまでの活動を通じてわかったこと、気づいたことを基に、対立を越えて多様な人々と共に生きるために役立つこと、必要なことを、グループ内で、模造紙にブレインストーミングで書き出した。
- 他グループのアイデアの共有…模造紙を交換して、他のグループのアイデアを共有した。その際、なるほど!と思ったアイデアに☆印を付けた。
- 5箇条化と全体共有…グループ内で、ブレインストーミングの内容を踏まえ、対立を越えて多様な人々と共に生きるための5箇条をまとめ、全体で発表した。



愛を持って…

1. 同じ人間であることを理解する
2. 一緒に何かをする (スポーツ、音楽、文化)
3. 耳を傾ける
4. 相手を許す
5. 相手の痛みを知る

<チーム LOVE>

1. 文化の多様性を教育

2. 異なる文化の人々との交流を通じて視野を広げる
3. 異なる文化に興味・関心を持ち、それを尊重する
4. 対話によって紛争を解決する
5. 相手を思いやり、許すことのできる寛容さをもつ
6. 正しい情報を多くの人に知らせる

<チーム KOMKAN>

18. 全体ふりかえり 16:03- [7]

- 感想の共有…1日をふりかえり、全体で感想などを共有した。

- ・ 紛争や対立が世界中にある中で、解決の方法は1つひとつ違うが、その方法の手立てを学ぶことができた。
- ・ いろんなスキルを身に付けることができた。積極的平和と積極的平和主義 (時の首相談) とは違うということがわかった。
- ・ はっと気づかされるが多かった。自分が対立を起こしやすい性格なので、意識する必要があるし、教員になるので、ここで学んだことを広めていきたいと思った。
- ・ 国同士の対立の解決方法を知って大きいことで難しいとは思ったが、多くの人が幸せに生活することが大切で、自分にできることがあることがわかったよかった。まずは人と話すことから始めたい。
- ・ 一番よかったのは、エリトリアの資料を読んだことで、9つの民族が話し合ったことを実行したことがすごいと思った。5箇条の内容は自分にできていることかどうかを振り返って、
- ・ 世界の中で戦争をしていない国が 10 カ国しかなくなったことを知らなかったことがショックだった。4月から教員になるので、まずは自分が関心や興味を持って、子どもたちに広めていく必要があると思った。

- 終わりのあいさつ…主催者の栗木さんが終わりの挨拶を行って終了した。

★16:10 終了 お疲れ様でした!!